

### 3月 定例山行

### 観音岳 (408m)

山口県 周南市

3月18日(日) ☆天候 晴

参加者 18名 CL 宮木(澄) SL 小林

佐々木、吉岡、小山、若木、宮木(一)、円山、柴田、田村  
上別祖、横地、熊野、三浦、村島、村田、坂井、成廣

コースタイム： 県庁北口発 8:00→現地着(登山口) 9:30(準備体操) 登山口発  
9:45→観音岳着 11:00(昼食) 頂上発 12:15→下山(楞厳寺)  
3:15→温泉 13:30~14:45 発→県庁帰着 16:45

#### 報 告

冬から春へ往きつ戻りつの気まぐれ気象に、咲き始めた桜の蕾がとまどっている。幸いきょうは、風もなく穏やかな登山日和になりそうだ。湯野観音岳は、徳山の西の端に位置し、標高も知名度も高くない。しかし、四国88ヶ所の分霊場「楞厳寺」を起点に湯野88ヶ所の石仏をたどる、お遍路文化の香りに充ちた山である。

バスは1時間半で目的地に着いた。楞厳寺本堂左手にある登山口を出発し、1番霊山寺の釈迦如来像から始まる巡拝コースに取り付く。いきなり擬木の階段が続くが、道はよく整備されている。ふと仰いだ枝にアセビが豊かな白い花房をつけており、ヤブツバキの紅もこの季節の代表的な山の彩りだ。移りゆく自然の中で、山を歩く者が感じる一年のサイクルの速さにハッと驚いている。突然ウグイスの初啼きを聴いた。余韻をひくその声は恋の囁りとでもいうのだろうか。鳥の社会にも早や春が来たようだ。

ベンチの置かれた展望所、トイレのあるお休み広場を経て、緩やかに下りたところが鞍部、ここからは左へのコースもあるようだが、右に進む。やがて水場があり、森の恵みの延命水をいただいた。

さらに足を運べば巨岩の夫婦岩、右道には子安観音、安産岩、それらをやり過ごして頂上に着く。

山頂からの視界は広い。湯野温泉街の集落を眼下に、遠く春霞みの果てに徳山湾の島々が収まっている。春の山でお弁当を広げるのも、格別の楽しいひとときだ。下山は往路をお休み広場まで戻り、道標にそって左コースを行く。ここから30分ぐらいで楞厳寺に下りた。湯野温泉でいい汗を流して帰路につく。なお、行きのバスの中で宮木一民さんから観音岳について「近年になって平安時代の黄金仏が出土した」とのレクチャーがあった。頂上にその「黄金仏発見碑」が建てられている。黄金仏は意外に小さいものであったが、長い時を経て、なお色あせず輝いていた。(記 小林 愷子)

